



## 《 国産大豆 》

### 21年産減産の見通し

10/27に国産大豆協議会が開催され、全農と全集連から21年産大豆の集荷、販売計画が報告されました。それによると、集荷見込みは、6月時点の予想に比べて1万8,160トン減産の17万7,185トンとなりました。そのうち、全農分は17万1,979トンで、20年産比で87%、19年産比で102%となっております。

今回の減産の主な要因は、北海道での夏場の長雨、日照不足による生育遅れ、九州北部での大雨による冠水被害、東海、北陸地域での台風による倒伏、冠水被害の影響があげられています。

主要品種の動向としては、20年産比で、おおすずが76%、フクユタカが83%、とよまさりが84%、リュウホウが87%、ミヤギシロメが94%、スズマルが94%の見込みです。

しかしながら、20年産が豊作だったため、持ち越し在庫もあり、供給不安にまでは至らない状況です。

### 21年産入札は延期

21年産国産大豆の入札開始時期については、日本特産農産物協会によると、水稻の収穫遅れにより、大豆の調製も遅れているため、12月以降の見通しとなっております。詳しい情報が入り次第ご案内いたします。



## 《 トピックス 》

弊社の平成21年産大豆契約栽培先である青森のJAつがるにしきた農協、金木町の圃場です。品種はオクシロメです。10/14現在、まだ落葉しておらず、乾燥するまでは、もう少し時間がかかりそうです。10/下旬から11/上旬に収穫の予定です。生育状況は、夏場の日照不足の影響があったものの、お盆以降に回復し、平年並みの収量が期待できます。



## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



## 《 北米産大豆 》

### 大豆生産高増加

アメリカ農務省は、11/10に‘09/10年産の世界の大豆生産予想を2億5,023万トンと発表し、前回比416万トン増産の見込みとなりました。これは、アルゼンチン、米国、ブラジルが増産見通しとなったためです。

### 米国大豆収穫遅れ

アメリカ農務省は、11/9に11/8現在の米国産大豆収穫率を発表しました。それによると、主要18州平均で75% (前年91%、平年92%) と遅れている状況です。特にウィスコンシン州は、54%と大きく遅れている状況です。



## 《 トピックス 》

去る10/27~11/2にかけて、弊社の芳賀が、北米の契約栽培大豆の産地視察に行っていました。今年の収穫は、平年より3~4週間遅れており、収穫後に乾燥調整をかけている状況です。米国産大豆は、タンパク値がやや高く、品質も良好との状況です。しかし、カナダ産に関しては、やや小ぶりでタンパク値も1%程度低くなるものと思われる。

弊社の新穀は、年明け1月に入荷予定となっております。入荷次第ご案内いたします。



## 《 中国産大豆 》

### ‘09 黒龍江省は減産見込

商社からの情報によると11/6現在、中国黒龍江省の大豆の収穫はほぼ終了し、生産量は、昨年よりも170トン減産の680万トンの見込みとなりました。減産の要因としましては、作付面積の減少によるものと、黒龍江省西部の不作によるものと思われる。今後、詳細が分かりましたらご案内いたします。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>